

上田先生、ご叙勲、おめでとう

長瀬 せい子

NAGASE Seiko

このたびは叙勲をうけられ、おめでとうございます。私が先生に初めてお会いしたのは、2007年の夏ごろ、熱海の MOA 美術館前のベンチに主人と一緒に座っていたときに、先生が気軽に声をかけてくださった時でした。そのころ先生は『ブライズ先生、ありがとう』を書いておられましたね。

私の自分史『一生懸命生き続けて八十年』は先生にすすめられて書き始め、書き溜めて、できあがったものでした。「若いころの恋愛の所は男性にはとても参考になる」などとおっしゃって、「そうした経験も是非書いてみてください」と。

できあがると先生は、「さすが文春の企画出版部ですね。編集が素晴らしい。読みやすい、読みやすい、面白い、面白い」と、たいそう喜んでくださり、嬉しく思いました。またその後、「皆さんにすすめたら、読みやすくして一気に読んだ、一晩で読んだ、と喜ばれた」などと。

そして東京駅そばの大きな本屋の「自分史」展に展示されたときは、我が事のように喜んでくださり、歌まで作っていただきました。

自分史のサンプルとして飾られし

あなたの本見るブックセンター

私は先生のお作りになった「能リア王」「能ポトマック桜」の公演に、大変元気づけられました。それで「能リア王」は再演されるたびごとに、お友達もご案内し、皆さんにとっても喜ばれました。先生の能は分かりやすくて面白い、とても感動したとか。最後は四谷の紀尾井ホールでしたね。

足立禮子先生は、83歳から86歳まで、シテのコーデーリアを演じられました。私も、その年齢にさしかかり、とても勇気づけられます。

そしてまた先生にすすめられて、昨年から自分史の続編を書いております。編集の方にも助けていただき、今年は出版出来たら嬉しいのですが。

いつまで生きられるか分かりませんが、生きている限りは一生懸命生きたいと思います。そう思うのも、多分先生の影響です。

先生はいつか私の知人が、「もうこれからは、儲からないことはやらない」と言ったとき、語気を強めて、「私は、経済活動はしない」とおっしゃったことが忘れられません。

先生はあの時ほんとうは、今の政府の経済優先、経済のためには戦争も辞さないかつての軍国主義的政策を、批判しておられたのですね。

言葉では「積極的平和主義」などと言いながら、憲法を変えてまで、経済大国、軍事大国の強い国にしようとしている今の政府を、先生は、本当は、激しく批判しておられたのですね。

「天皇陛下はそのことを、どんなに心配しておられることか」ともおっしゃいましたね。

私は先生のそういう「武士は食はねど高楊枝」的な「武士道精神」のような精神的な強さと、その行動力を、心から尊敬いたしております。

この度の叙勲では、熱海でのお祝いのお食事のあと、レストランのきれいな色紙に即席で、
平和祈る陛下よりなれば榮譽なり

政府よりならば受けざらましを

と書いて、英語でも、

It is the great Honour

To receive the Decoration from the Emperor;

If from the Government,

I would not accept.

と書いて、私とレストラン（柿の木）のご主人にいただきました。

また、綬章の当日は、天皇陛下の皇太子時代の家庭教師ブライズ先生についてお書きになった『ブライズ先生、ありがとう』が御縁で、皇居で陛下とお話しなされたとのこと。感激しました。

そして今年は新作能「ロミオとジュリエット」の国立能楽堂公演が決まったとのこと。傘寿を迎えられた先生の、今後のさらなるご活躍を、胸を膨らませて期待いたしております。

(熱海市・高崎市)